



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



アイブリッジ協同組合では、新型コロナウイルス感染症への対策として、「事前に実習生・職員全員のPCR検査」を実施し、「陰性」の場合にのみ配属・訪問することを徹底しています。受入れ先の皆さまに安心していただけるよう、細心の注意と最善の努力を続けて参ります。

数字で見るアイブリッジ

60
組合員数

216名
実習生数

114名
介護実習生数

45名
内定者数

働き方改革推進支援資金のご案内

厚生労働省は外国人労働者の職場定着や外国人特有の事情に配慮した就労環境の整備などに取り組む事業主に対し、必要な運転資金・設備資金を特別利率で融資することを発表しました。

資金使途の対象事例

- 社内規定や事業所内の安全標識・社内掲示板等の多言語翻訳
- 外国人労働者のための職員寮や社宅の新設
- 外国人労働者の宗教に配慮した環境設備
- 外国人労働者の日本語教室の受講費用

融資限度額	中小企業事業 7億2千万円(うち長期運転資金2億5千万円) 国民生活事業 7,200万円(うち運転資金4800万円)
返済期間	設備資金 20年以内(据置期間2年間) 運転資金 7年以内(うち据置期間2年以内)

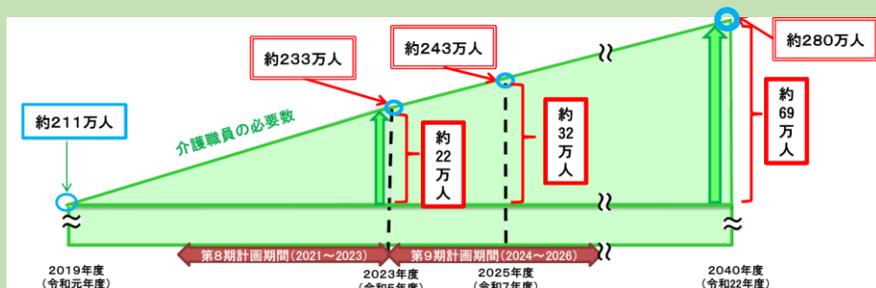
アイブリッジ協同組合にご相談ください。

介護職員の必要数、2023年度には約233万人

厚生労働省より、第8期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づく介護職員の必要数が公表されました。都道府県が推計した介護職員の必要数を見ると、

- 2023年度 約233万人(+約22万人)
- 2025年度 約243万人(+約32万人)
- 2040年度 約280万人(+約69万人)

※()内2019年比



国は、

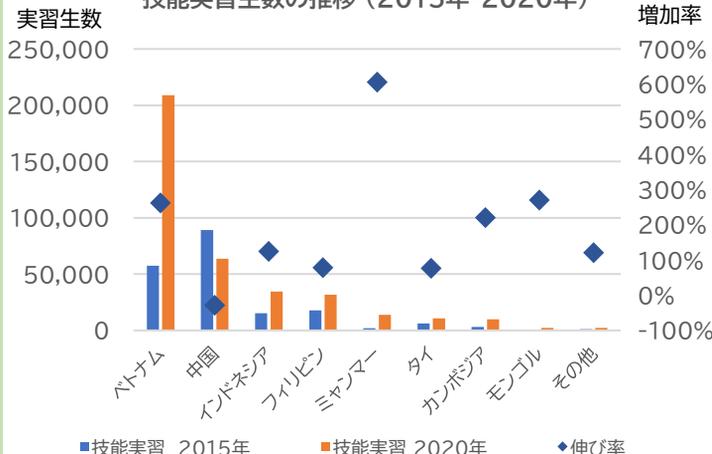
- ① 介護職員の処遇改善
- ② 多様な人材の確保・育成
- ③ 離職防止・定着促進・生産性向上
- ④ 介護職の魅力向上
- ⑤ 外国人材の受入環境整備

など総合的な介護人材確保対策に取り組むとしており、外国人材の活用も施策の一つとして注目されています。

ミャンマー技能実習生数約600%の増加

入出国在留管理庁から2020年末の在留外国人のデータが公表されました。2015年の223万人から289万人に増加しています。なかでも技能実習生については、19万人から30万と約2倍と高い伸びを示しました。

技能実習生数の推移(2015年-2020年)



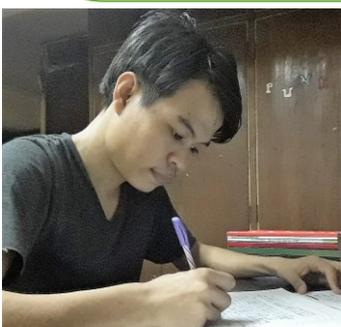
国別の人数で見ると、中国が減少する一方、ベトナムが約半数を占める伸びをみせています。一方、増加率で見るとミャンマーが約600%の増加と突出してしています。このミャンマーの伸びは、奉仕の精神にあふれる国民性や、人口規模や経済状況等から送り出し人数の拡大や安定性において潜在力が高いことが評価されているためではないかと考えます。また、クーデターによる経済の低迷から、海外に職を求める優秀な若年層が増加しており、今後最も有望な送出し国の一つと考えられます。

ミャンマーの送り出し機関から 実習生の様子が届きました

私の名前はモーチョウチョウと申します。私は介護の仕事で日本の会社から内定をもらい、現在は日本語学校で中級を勉強しています。

日本に行ってから介護職員としてちゃんと働きたいので、平日は午前10時から午後3時まで介護講習と日本語の中級を勉強しています。

毎日の楽しみは家族と話すことや漢字を書くことです。日本の習慣に慣れるようにマナー講習のビデオを見たり、12月の日本語能力試験に中級を合格するために集中して試験対策をしたりしています。そして、会話力を高めるために日本のドラマを12時まで見てから寝ます。



モーチョウチョウさん

1日のスケジュール

- 8:30 起きたあと、部屋を掃除してシャワーを浴びます
- 9:00 朝食をして、介護講習を予習します
- 10:00 学校へ行きます
介護と日本語の講習を受けます
- 15:00 休憩 コーヒーを飲みながら
ニュースを読んで休憩します
- 18:00 夕食を食べます
- 20:00 宿題と日本語の勉強をして
先生に提出します
まで
- 21:00 漢字の勉強をします
- 24:00 就寝

ミャンマー送り出し機関 ケハシミャンマー
タンシンナイン様より



現在、新型コロナウイルス感染症で世界中が深刻な状況である中、ミャンマーでは政治的に不安定な状況にもおちいて、2重の苦難に向き合っているところです。この状況の中、多くの者が職を失い夢と未来をなくなっている若者も少なくないです。その中で、日本への就労機会のチケットを手に入れている技能実習生内定者たちは希望を失ってない少数派であるでしょう。学校には通えず、インターネット通信も不安定な中、自宅にいながら、一生懸命に日本語と日本で働くための知識を学んでいます。遠隔の学習ではあるが、先生たちの指導に従い、宿題提出や復習や予習を真面目にやっていることを伺っています。

介護職で行く学生たちは介護の講習を受けるなど、専門的な知識を身に着けるための努力をしています。「はやく日本へ行きたいです」、「日本へ行くことが楽しみです」という学生たちの声を聞き、彼らにとって日本行きは苦境を脱出するための唯一の手段だと感じられ、送出機関としてはみんなの夢の扉が開ける日ははやく来ることを願っている毎日であります。

／今月の実習生紹介／

インジン カイン

EINGYIN KHINEさん（国籍:ミャンマー）

エイジサービス・いずみ別荘2

入社して8ヶ月ぐらいになりました。仕事について、最初は慣れるのに時間がかかりましたが、今は全く問題ありません。従業員たちもみんなやさしくて、分からないことがあったら、丁寧に教えてくれます。仕事で一番楽しいと感じたのは、利用者さんが私の名前を覚えて呼んでくれる時や母国のことを聞かれてたくさん話げできた時です。

日本語は自分で勉強しています。教科書で勉強したり、YOUTUBEのビデオをみたりしています。日本語能力試験(JLPT)はN2を持っています。目的はJLPTN1を合格し、介護福祉士の資格を取ることです。



日本の料理はまだ慣れません。なので、時々ミャンマーの料理を自分で作って食べます。ミャンマーから持ってきた調味料はもうなくなってしまったので、最近オンラインで買っています。趣味は旅行と編み物です。そして猫も大好きなので、コロナの感染症が落ち着いたら、宮城県にある田代島(猫の島)に行ってみたいです。

オンラインイベント ミャンマー人の外国人技能 実習生と働こう！

アイブリッジ協同組合では、これから外国人技能実習生の受け入れをお考えの方へ向けたオンラインでのイベントを開催することとなりました。このイベントでは実習生の現場の様子やお家をご紹介します。当日には面接から採用までを担当した施設長様、そして実習生とともに働く指導員様をお呼びし、接現場の声を聞くことができる場も設けております。是非、この機会にご活用ください。

開催につきまして

日時：2021年10月11日(月) 15:00～16:00

開催場所：ZOOMにて開催

参加費：無料

当日ご参加頂いた方にはQUOカードを進呈いたします！



元厚生労働省健康局長
アイブリッジ協同組合
代表理事 佐藤敏信

事前の
お申込みは
こちらから



お申込みはコチラから！
お申込みはコチラから！

